

周縁的社会集団と近代—日本と欧米におけるアジア史研究の架橋 第18回セミナー（2019年度第3回）

今回のセミナーでは、シンガポール国立大学(NUS)の准教授であるマイトリ・アウンティーン(Maitrii AUNG-THWIN)氏に、ご報告をしていただきます。

アウンティーン氏は、東南アジア史、とりわけミャンマー史を専門としています。本報告では、アウンティーン氏がこれまでの研究で扱ってきた、1930年代にミャンマーで起こった農民の武装蜂起について再検討し、「周縁的社会集団と近代」を研究していくための新たな方向性について論じていただきます。セミナーは、逐次通訳を用いたバイリンガルで行われます。

近世～近代以降の社会史や東南アジア史に関心のある皆さまのご参加をお待ちしています。



出典：左上 イギリス人が見たシュエダゴン・パゴダ（1825年）

https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9F%E3%83%A3%E3%83%B3%E3%83%9E%E3%83%BC#/media/File:Shwedagon_pagoda.jpg

中央 第二次世界大戦直後のヤンゴン

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A4%E3%83%B3%E3%82%B4%E3%83%B3#/media/File:RangoonStreetView.jpg>

日時 2019年5月29日(水) 16:00～19:00ごろ

会場 大阪市立大学 文学部会議室(文学部棟 1F L122)

内容 マイトリ・アウンティーン氏(シンガポール国立大学)

(Associate Professor, Department of History, NUS)

"Custodians of the Early-Modern Past: 20th Century Peasant Rebels and the Construction of a Southeast Asian Resistance Culture"

(近世からの管理人—20世紀における農民の武装蜂起と東南アジアにおける抵抗文化の形成)

連絡・問い合わせ先

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁的社会集団と近代」事務局
佐賀 朝(文学研究科教授) E-mail: CYI03126@nifty.ne.jp